

# 市長面談議事録

2009年12月9日

ちがさき自然エネルギーネットワーク

日時：2009年12月9日(水)9時～9時20分

場所：茅ヶ崎市役所本庁舎4階市長応接室

出席：茅ヶ崎市：服部信明市長

ちがさき自然エネルギーネットワーク（以下「REN」）：上野代表、井澤、高橋、小菅、  
西川、杉村、小川、谷井（記録）

立会者：原橋課長（環境政策課）

## 1 提出資料（REN）

- (1) 市長へお伝えしたいこと
- (2) グリーン電力基金へ参加のお願い
- (3) 議員さんへの手紙

## 2 報告事項（REN）

- (1) 本年度の市民提案型協働推進事業は、大きな事業がほぼ終了、効果的に事業が実施できた。
- (2) 来年度の市民提案型協働推進事業（継続枠）の一次審査を通過した。
- (3) 神奈川県地球温暖化防止活動推進センター主催の「エコな活動一村一品・知恵の環づくり」で選定委員特別賞を受賞。

## 3 審議内容

上野代表の挨拶の後、以下の意見交換を行った。

### (1) 「グリーン電力基金」の加入促進について

REN：G I A C事務局からの情報で、茅ヶ崎市に関しては、平成21年4月時点に比べ、現在は1件1口減少したと聞き、残念である。来年度G I A Cへ助成申請するが、その可否については、基金参加件数の増加がポイントになると思われる。行政としては是非基金参加の検討をお願いしたい。

市長コメント：ぜひ基金加入促進策を実施したい。具体的には、広報「ちがさき」などで市民に直接呼掛けるとともに、商工会議所にも働き掛けたい。茅ヶ崎市役所としては、庁舎や小学校など教育施設も加入参加を検討させたい。

## (2) グリーン電力証書について

REN: 今後茅ヶ崎市に設置されている太陽光発電システムの証書化の実現を目指す事が重要である。そのために必要な発電電力量計の設置、設備認定・証書化・販売等の手続きはRENが行う用意がある。その証書販売代金は、ふるさと基金へ積み立て、太陽光発電システム2号機以降の設置資金と出来るような仕組み作りを考えている。実現に向けて、ご協力をお願いしたい。今年度茅ヶ崎市では駐車場などに太陽光発電施設を設置する予定がある。グリーン電力証書取引のためには設備認定・発電電力量の測定が必要で、工事の際電力量計の取り付けが必要である。

市長コメント: 本件、関係部署で協議させ、電力量計の取り付けを検討したい。

## (3) 地球温暖化防止に対する市の組織体制について

REN: 地球温暖化防止政策の実現の為には、横断的な行政運営が大切である。広島市の「エネルギー・温暖化対策クロスセクションの長」制度などを参考にさせていただき、組織強化をご検討願いたい。電力量計の設置にしても工事部門との連携が必要である。RENの「エネルギー先進都市を実現するための提案」でもエネルギー室の設置という横断的組織の設立を提案している。横浜市では、期間限定の推進事業本部があり組織強化の効果が出ている。横断組織で実効をあげるには、関係部署の上位にあって調整するための権限が必要である。

市長コメント: 次期総合計画の策定作業なかで総合計画を実効あるものとするため、基本構想に定めた政策・施策の体系と茅ヶ崎市の組織を連動させることを検討中である。さらに縦割り行政組織では対応困難な「環境」「協働」のような組織横断的課題についても、組織と予算編成を密に連携させ、茅ヶ崎市の政策・施策の進行管理を行う予定である。

## (4) その他

### ア 協働事業について

REN: 市の各部署は市民団体と協働してそれぞれ持ち味を発揮して取り組んでいる。この仕組みは今後も継続していただきたい。

市長コメント: 今後も継続する。

### イ 茅ヶ崎市の職員採用について

REN: 神奈川新聞に「競争率44・9倍、茅ヶ崎市の職員採用試験が人気」の記事があり茅ヶ崎市民として誇らしく思った。現在茅ヶ崎市では社会経験のある人材の途中採用を積極的に行なっており、その良い効果は出ていると思う。

市長コメント: 市長就任後、職員採用試験の手法を見直した。筆記試験よりも面接を重視し、志望者の「やる気」や協調性・リーダーシップなどグループ討議をさせて見るように変更したものである。

以上